

日本地震工学会 津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会 報告会 開催案内

開催趣旨：津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会は2012年度に発足し2016年3月で終了しました。その成果を学会内外に報告して議論いただき、成果の普及と発展的継承を図るため報告会を開催します。

日 時：2016年5月10日（火） 13:30～17:15

会 場：工学院大学新宿キャンパス 28階第一会議室

対 象：突発災害からの避難行動に関心のある研究者、技術者、学生

参加費：無料

配布資料：研究委員会の報告書（約100頁の見込み）

プログラム

- ・開 会 <13時30分>
- ・委員長と各部会の活動報告（15分×5） <13時30分～14時45分>
- 休 憩
- ・特別講演 <15時00分～15時45分>
『「避難」のスイッチ、どう入れる？』
中川和之氏（時事通信社解説委員、静岡大学防災総合センター客員教授）
- ・パネルディスカッション <15時45分～17時15分>
登壇者：中川和之氏、委員長、各部会から1名

テーマ1：「避難と情報」
津波計の沖合展開により確実な津波警報を迅速に伝達するシステムが開発されている。一方、避難が情報待ちになる事が懸念される。南米チリでは警報がなくとも迅速な避難が行われた。情報をどう活用するか？

テーマ2：「自助・共助と公助、ソフト対策とハード対策」
自助・共助によるソフト対策は必要であるが永続的な対策となり得るか？居住地域の高台移転をどのように実現するか？

テーマ3：「避難シミュレーションの方向性と可能性」
動画で表示することにより防災教育や避難のボトルネックの抽出に有効なことは確認されている。さらなる活用の方向性と可能性は？
- ・閉 会 <17時15分>
- ・懇親会（実費徴収） <17時30分～ >